

甲南町宮地区連合自治会で獣害対策の研修を実施

甲南町宮地区は、伊賀市に隣接する 5 集落からなる谷地田の多い中山間地域で、近年、サル被害が激発し、住民の皆さんが大変苦慮されています。

これまでに棲み分け柵の設置が進み、集落環境点検も獣害対策協議会の支援によりすべての集落で実施されており、宮地区自治地振興会としても獣害対策をみんなで考えていこうと自治振興会の専門部会である農林部会の重要課題に掲げられています。

今回、獣害対策をテーマとした部会の研修会が 7 月 17 日 J A 支所で開催され、市とともに出席しました。出席者は集落役員、市関係者など計 30 名でした。

当課からはサル対策を主体にした宮地区の獣害対策について話題提供しました。事前に市と現地をまわり、課題やうまく対策されているところを写真に撮り、甲賀地域全体の状況とあわせて話を進めました。棲み分け柵の管理では、サル対策仕様にするための改善方法や里山リニューアル事業を活用した柵背後の藪解消について強調しました。サルの追い払いでは、昨年までの普及活動で各集落に追い払い隊ができていたので、追い払い隊の防除効果が一層向上するための条件整備や集落間連携をいかに進めるかについて説明しました。市からは、最近の群れの動向とその状況を携帯電話で見ることができる接近警報システムに関する情報提供がありました。

出席された集落の皆さんからは、「伊賀市の群れ情報や集落の対策状況がわかるといいのだが」「追い払いの精度を各集落で高めていこう」などの意見が出されたほか、環境整備として里山リニューアル事業を来年度活用していきたいという集落もあり活発な意見交換が行われました。

今後は、伊賀市、甲賀市、三重県、当課の 4 者でサルの群れ情報を相互に交換できるシステムづくりを検討するとともに、甲賀市、森林整備事務所等との協働によりサル対策のモデル実証が実現できるよう仕掛けていきたいと考えています。

